

広島市街地の高潮対策 東観音地区等で施工

広島デルタに発達した広島市街地は、南に開けた地形特性から、ひとたび高潮による浸水被害を受けた場合には、甚大な被害が発生します。このため、高潮堤防により広島市街地を守ることを目的として、県と国が連携して高潮対策事業を進めています。

広島市街地は平成3年、平成11年および平成16年の台風により高潮被害を受けてきました。平成16年の台風18号は、江波観測所において観測史上最高の潮位(TP+2.96m)を記録し、広島市内に甚大な浸水被害をもたらしました。これらの浸水被害を受けて、天満川東観音地区および観音本町地区について、平成20年度より整備を進めています。

太田川高潮対策事業の役割と高潮堤防の施工方法



平成16年台風18号の高潮被害(出島地区)

広島市街地は、16世紀の毛利輝元の鯉城(広島城)築城を契機に、海に向かって干拓と城下町の整備により形成された歴史があります。このため、満潮時の海面よりも低い、ゼロメートル地帯と呼ばれる地域が広がっています。また、東京湾や大阪湾と同様に南に向いて広島湾が広がっているため、台風の来襲により気圧低下や強風で海面上昇が起ると、高潮被害が発生しやすい地形になっています。

発生日月・台風名	最高潮位(T.P.・m)	被害内容(戸数)	
昭和51年9月13日・台風17号	2.38	床上浸水 5	床下浸水 276
昭和53年9月15日・台風18号	2.78	床上浸水 223	床下浸水 274
平成3年9月27日・台風19号	2.91	床上浸水 423	床下浸水 1,220
平成11年9月24日・台風18号	2.74	床上浸水 216	床下浸水 202
平成16年8月30日・台風16号	2.75	床上浸水 1	床下浸水 16
平成16年9月7日・台風18号	2.96	床上浸水 86	床下浸水 92

近年の高潮災害

国土交通省では、広島に來襲した最も大型であったルース台風(昭和26年)のコースを、これ以上の強さであった伊勢湾台風(昭和34年)が通過した場合の異常高潮が発生しても、安全に対応できるように、昭和54年より「高潮対策事業」を実施しています。

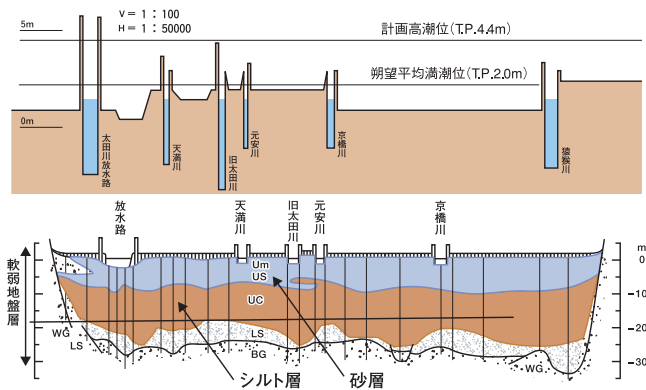
高潮堤防は、通常の満潮位に台風通過時の水位上昇量と各地点の波高を加えた高さとなりませんが、波の減衰を考慮すれば満潮位に3〜4.9m加えた高さが必要になります。市街地の大部分が満潮位より低い地盤高さになることから、高潮対策事業の早急な整備が求められています。

国土交通省では、高潮対策事業実施途中となる平成3年9月の台風19号により大規模な高潮浸水被害が発生したことから、早期に事業

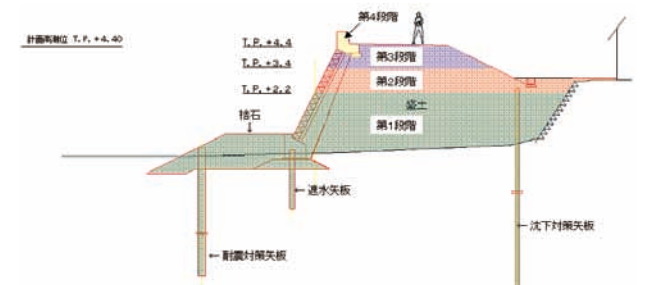
効果を発現させるため、同規模の高潮が発生しても再び浸水被害が発生しないよう、再度、災害防止区間と暫定的な堤防高を設定し、重点的に事業を推進しています。

太田川デルタは軟弱地盤の上に形成されているため、高潮堤防を建設するに当たっては右下図のように、周辺家屋等に影響を与えないよう沈下対策や大規模地震時に堤防の破壊に伴う浸水を防ぐための耐震対策を実施しています。

高潮堤防工事のように、川の一部を締め切つて施工する工事は、洪水を安全に流すための河川断面が不足し、背後市街地に対する安全が確保できないため、非出水期(10月26日から6月10日)の工事となります。また堤防護岸および周辺家屋等に影響を与えないよう、3回に分けて施工します。今後とも皆さまのご協力を



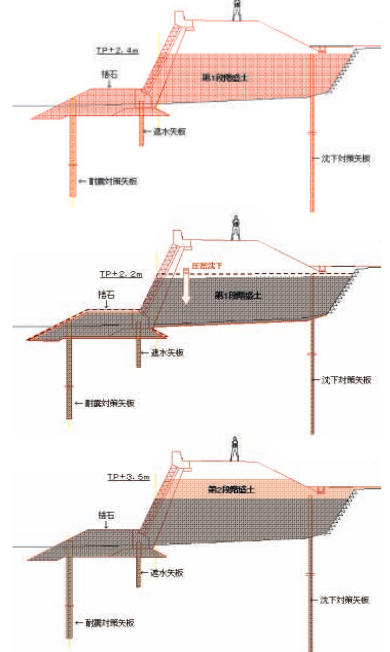
広島デルタ地帯の断面図



高潮堤防の標準断面図

・堤防の施工を段階的に施工する方法

- ①第1段階の盛土(工事実施)
耐震・遮水・沈下対策矢板捨石にくわえ、満潮時の影響を受けない高さとなる第1段階盛土を施工。
- ②圧密沈下期間(工事休止)
第1段階盛土完了後、軟弱地盤が自然に圧密沈下するのを待つ。
- ③第2段階の盛土(工事実施)
圧密沈下が落ち着いた後に再度災害防止高さにもなっている第2段階盛土を施工。



以下、同様に圧密沈下後計画高さまで施工していく。



草刈り作業の様子と翌日に開催されたグランドゴルフ大会

10月3日、地元の皆さんによる小瀬川「穂仁原子どもの水辺」の草刈りが行われました。

「穂仁原子どもの水辺」は、大竹市立穂仁原小学校裏に平成20年3月に完成し、広場へ降りるための坂路や通路、芝生広場などが整備されています。3月に大竹市で行われる「ひな流し」の会場としてご存じの方もおられるでしょう。

平成21年4月1日、地元の方々と構成される穂仁原水辺の楽校協議会と大

竹市、太田川河川事務所との間で、協議会が「穂仁原子どもの水辺」の除草や清掃等を行い、市がその活動を支援する旨の維持管理協定（「小瀬川環境美化サポーター」協定書）が締結されました。今回の草刈りは、この協定にもとづいて実施されたものです。

これからも「穂仁原子どもの水辺」が地域の共有財産（学習や伝統を引き継ぐ場、地域交流の場）として、おおいに活用されることを願っています。

地域の共有財産、みんなで大切に

「穂仁原子どもの水辺」で草刈り作業

太田川放水路の旭橋から己斐橋の間には、人工的に土砂を盛り上げた干潟があります。ここには満潮時に水に沈む環境でも育つ「塩生植物」が広島湾域で唯一まとまって生息しており、とても重要な場所です。

太田川河川事務所では、塩生干潟再生にも取り組んでいます。10月17日には、（財）広島市文化財団文化財課主催、エコロジー研究会ひろしまの協力によるフィールドワーク「太田川くせせらぎの希少植物観察」が、太田川放水路西岸河川敷（こいつ子ふれあいの水辺）で開催されました。

塩生植物は種類ごとに育つ場所が異なっており、こいつ子ふれあいの水辺付近には、主にハマサジやフクドが生えています。天候にもめぐまれ、楽しい観察会となりました。



ハマサジ



ラオ

こいつ子ふれあいの水辺でフィールドワーク

「太田川くせせらぎの希少植物観察」

大好評!「刈草無料提供」に応募36件

資源の有効活用、処分・運搬費用 約600万円(試算値)を節減



本紙前号でもお知らせした「刈草無料提供」に36件の応募が寄せられました。河川堤防等の適正な維持管理のために行う除草作業で発生する刈草を農業・畜産などに利用される方に無料提供する試みでしたが、好評をいただき、ありがとうございます。資源を有効に活用することができるとともに、処分・運搬に要する約600万円(試算値)を節減できることになりました。この節減予算は、来年度以降に計画していた河道内樹木伐採に活用するなど、治水機能の早期向上に役立ちます。

「刈草無料提供」は来年度以降も実施する予定です。皆さまのご協力をお願いいたします。

「太田川ライブカメラ」をご利用ください

太田川水系・小瀬川水系のリアルタイム映像を提供しています

国土交通省中国地方整備局 太田川河川事務所 Ootagawa Live Camera

本館河川事務所 電話: 082-222-9246

本館河川事務所「Live」映像を提供しています。
※一部に音声で音声情報は一部のみです。

本館川 705.700 瀬川中継所下流から	本館川 814.290 上瀬川中継所から	本館川 606.000 高島中継所から	本館川 814.800 高島中継所から	本館川 906.400 上瀬川中継所から
本館川 1076.200 高島中継所から	本館川 1140.000 高島中継所から	本館川 408.000 高島中継所から	本館川 410.000 高島中継所から	本館川 3020.000 高島中継所から
本館川 208.400 高島中継所から	本館川 1140.000 高島中継所から	本館川 106.000 高島中継所から	本館川 110.000 高島中継所から	本館川 1620.000 高島中継所から

画像
選
択
画
面

旧太田川 2x600 相生橋カメラ

相生橋

午前中に相生橋を選択してみました

旧太田川 2x600 相生橋カメラ

相生橋

夜の相生橋を選択してみました
街の灯りが水面に映っています

河川管理用カメラから送られてくるリアルタイムの映像を太田川河川事務所のホームページを通じて皆さまにもご覧いただいている「太田川ライブカメラ」。

太田川水系・小瀬川水系の河川状況の変化に日頃から関心を持っていただくとともに、大雨・台風時には直接現場へ行くことなく安全に情報を収集していただくことを目的に公開しており、現在20か所の映像をお届けしています。

すでにご利用いただいている皆さんからは、四季折々の川の表情を楽しむこともできると、好評をいただいています。

そのほか国土交通省では雨量・水位等の河川に関するリアルタイム情報もインターネット(<http://www.river.go.jp>、<http://i.river.go.jp/>)で提供しています。お手持ちのパソコンや携帯電話で防災にご活用ください。



太田川河川事務所 検索 トップページにバナーがあります。

